

# 週刊 タバコの正体

下のイラストには、喫煙室内で談笑しながらタバコを吸う二人を見て「大丈夫かな……」と不安げな表情を浮かべている人が描かれています。1年前なら、こんなシーンを見ても「何が心配なのだろう」と思ったでしょうが、現在なら何が心配なのかピンと来るはずです。

煙が漏れないようにできている狭い「密閉」した空間で、複数人が「密集」し、至近距離で「密接」して

いるのです。まさに「3密」の状態の中にいるうえ、タバコを吸うためにマスクを外しているのですから、コロナウイルスに感染しないか心配になるのは当然です。

じつは、政府が専門家とともに行ったコロナウイルス対策に関する調査によると、職場においてタバコを吸うためにマスクを外す喫煙所で感染が広がった可能性が高いと指摘されています。

マスクなしでは、通常の会話をするだけでも感染リスクが高まるのに、タバコを吐き出す人ばかりの中でのいるなんて恐ろしく危険ですよ。

ということで、公共の場所に設置されている喫煙所は、写真のように閉鎖されています。今後もこの傾向は続くでしょうから、タバコが吸える場所は、ますます減るでしょう。

受動喫煙を防ぐために、タバコは喫煙所で吸わなければいけません。しかし、喫煙所はコロナウイルスの感染を拡大させるので使わない方が良いでしょう。

となると、受動喫煙も感染拡大も防ぐためには、やっぱりタバコを必要としない人ばかりの社会が理想だと思います。

産業デザイン科 奥田 恭久



西日本新聞 HPから



中日新聞 HPから